

データシート



内容:

- 包括的ライセンスパッケージ
- すべての機能を含むユーザーベースのライセンス

展開オプション:

- オンサイト仮想サーバー
- 公共クラウド管理型インスタンス

ライセンスオプション:

- エンタープライズ永続
- 1年間購読
- 3年間購読
- 5年間購読
- 教育ライセンス
- ホワイト グローブ サービス (リモート導入)

ライセンス内容:

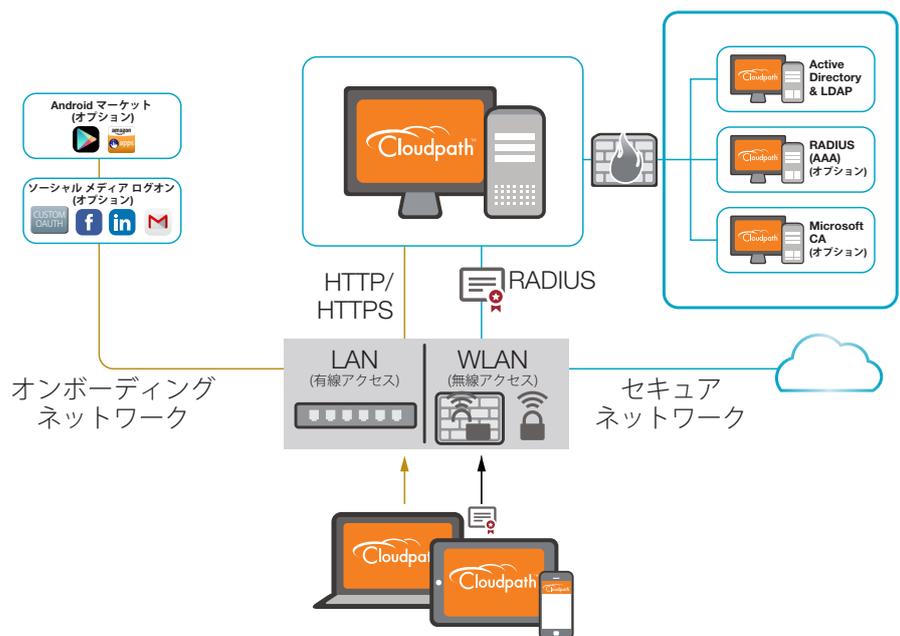
- 保守とサポート
- レポートング

Ruckus Cloudpath Enrollment System (ES) ソフトウェアはセキュリティとポリシーの管理プラットフォームです。IT チームはこのプラットフォームでネットワークを簡単かつ確実にセキュアにし、ユーザーをセキュアにし、有線と無線のデバイスをセキュアにできます。

Cloudpath ソフトウェアを使用すれば、証明書管理、ポリシー管理、デバイス有効化など、通常は分散されていて管理が複雑な複数のサービスの導入を、統合して簡素化できます。

以下の特徴を持つ唯一のセキュリティおよびポリシー統合管理プラットフォーム:

- クラウド管理型の導入オプション
- マルチテナンシー
- デバイスではなくユーザーに基づくライセンスング
- 事前のボーディング (自動化されたリモート オンボーディング)
- Chrome 拡張機能で Chromebook オンボーディングを自動化



Cloudpath アーキテクチャでは、新しいデバイスはオープン SSID または有線接続でネットワークに参加し、この時点でユーザーは Cloudpath ES ポータルにリダイレクトされます。Cloudpath ソフトウェアは、ユーザーを認証して許可を与え、次に証明書かプロフィール、およびセキュア ネットワークでデバイスを構成します。次にソフトウェアはデバイスをセキュア SSID またはセキュア有線ネットワークに移動させます。デバイスは証明書またはインストール済みプロフィールを使用して認証し、Cloudpath ソフトウェアは RADIUS 認証を処理します。

デバイスをウェブ経由で登録することもできるため、ユーザーは物理的に離れた場所でデバイスを有効化できます。ネットワークに近づくと、デバイスはセキュアに参加します。

Cloudpath はオンプレミスの仮想インスタンス、またはクラウド管理型の導入のどちらとしても利用可能であり、同様の機能を利用できます。

証明書管理

Cloudpath ES ソフトウェアには、包括的な認証局 (CA) が内蔵されており、IT 部門は独自の公開鍵インフラ (PKI) を作成して管理できます。内蔵 RADIUS サーバーとユーザー データベースによってインストールと設定が格段に簡素化され、ポリシーと証明書をリンクできます。Cloudpath ソフトウェアに搭載されている機能に加え、API その他のメカニズムによって既存の CA、RADIUS、ユーザー データベース インフラストラクチャと簡単に統合できます。

ポリシー管理

IT スタッフは、Cloudpath ES ソフトウェアのシンプルなワークフロー型ポリシー管理ポータルを使用し、全ユーザーと全デバイスについて詳細なポリシーベースの制御を行うことができます。ポリシー エンジンは、クライアントとユーザーの権限を認識し、適切なポリシーを各ユーザーと各デバイスに適用します。ソフトウェアはポリシー施行点と連動し、ポリシーが適切に施行されるようにします。

デバイス有効化

Cloudpath ES ソフトウェアを使用すると、エンド ユーザーは自分のデバイスでポータルベースのセルフサービス オンボーディングを行います。さらに、ユーザーは、目的地に到着する前にデバイスを事前にオンボーディングすることもできます。ネットワークが適切に保護されるように、管理者は、どのデバイスがネットワークに参加できるかを制御できます。また、ファイアウォールを有効にする、特定のアプリケーションをインストールする、ウィルス対策ソフトを更新するなど、オンボーディングのための条件をデバイスに課すことができます。

主な機能と利点

認証局

- 「ユーザー」証明書と「デバイス」証明書の両方に対応
- パスワード、事前共有鍵、MAC 認証などのセキュアでない手法の代わりに証明書を使用することでネットワーク セキュリティを強化
- 内蔵公開鍵インフラストラクチャ (PKI)、Microsoft CA、InCommon などの複数の認証局
- マルチテナント モードでは、各テナント用に一意の CA を使用可能
- ポリシーと証明書をリンクする証明書テンプレート

セキュアアクセス

- デバイスは、EAP-TLS、PEAP アクセス メソッドで、802.1x 認証によるセキュア WPA2-Enterprise で接続
- IoT (ヘッドレス) デバイスを含むすべての有線および無線のデバイスに対応
- 従業員、ゲスト、さらに従業員が所有する BYOD デバイスに対応

WPA2-Enterprise (802.1X)



アクセス コントロール



To access the secure network, follow the instructions below based on your computer's operating system.

Microsoft Windows



After downloading, go to your desktop or downloads folder and open the file "NetworkWizardLoader-D0562618.exe".

If you prefer and your browser supports it, you may launch via [Java Applet](#) or [ActiveX](#).

Show all operating systems.

- ダイナミック アクセス制御リスト (ACL) を、RADIUS ベンダー固有属性 (VSA) 経由で有線または無線のインフラストラクチャにプッシュ
- 一時エージェントでデバイスのポスチャールチェックと修正を自動的にを行い、アクセスしようとするすべてのデバイスが最低条件を満たすように徹底
- サポートされているポスチャールチェックは、最新の OS パッチ、ウィルス対策とスパイウェア対策パッケージおよび現在の定義ファイル変数 (バージョン、日付など)、マルウェア対策パッケージ、レジストリ設定 (鍵、値など)、パッチ管理、モバイル デバイスの PIN-ロック、アプリケーションがあるかどうか、ファイアウォール設定など

セルフサービス オンボーディングと事前ボーディング

- ユーザー ポリシー作成のためのシンプルなワークフロー、カスタマイズ可能なルック・アンド・フィール、セルフサービス オンボーディング ポータルブランディングで、エンド ユーザーは自分のアクセスとデバイスを簡単に管理できるため、IT チームの負担が軽減
- 事前ボーディングによってエンド ユーザーは、ネットワークにアクセスする目的地に着く前に、自宅やホテルなどを含めインターネットにアクセスできる場所ならどこからでもデバイスをオンボーディングすることが可能
- フィルターによって、オンボーディング中にロケーション ポリシーやダイナミック ポリシーを有効化
- 企業所有デバイスのオンボーディング、BYOD オンボーディング、ゲスト デバイス オンボーディングに対応

**スポンサー
ゲスト アクセス**

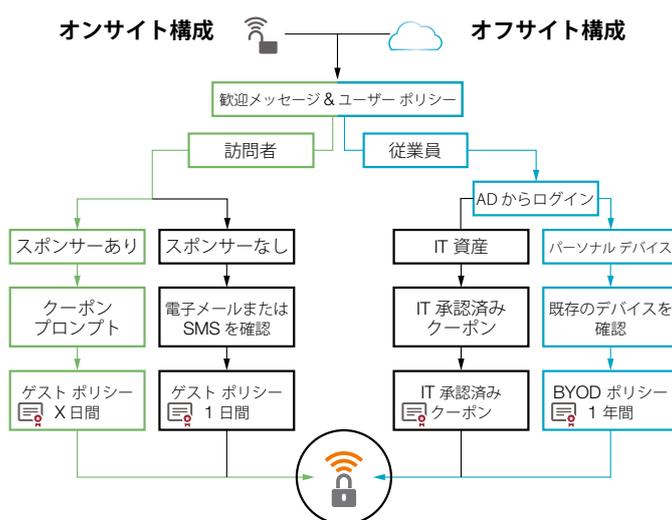
AUP 承認 2014/11/1

Jim Johnson
承認者: Bob Smith
jim@company.com

パーソナル デバイス
デバイス タイプ: ラップトップ
OS: Windows 7
所有者: 個人

ポリシー: ゲスト
有効期限: 2015年1月1日

スポンサーがキャンセル



**BYOD
登録**

AUP 承認 2014/11/1

Bob Smith
ID: Active Directory
グループ: BYOD 有効

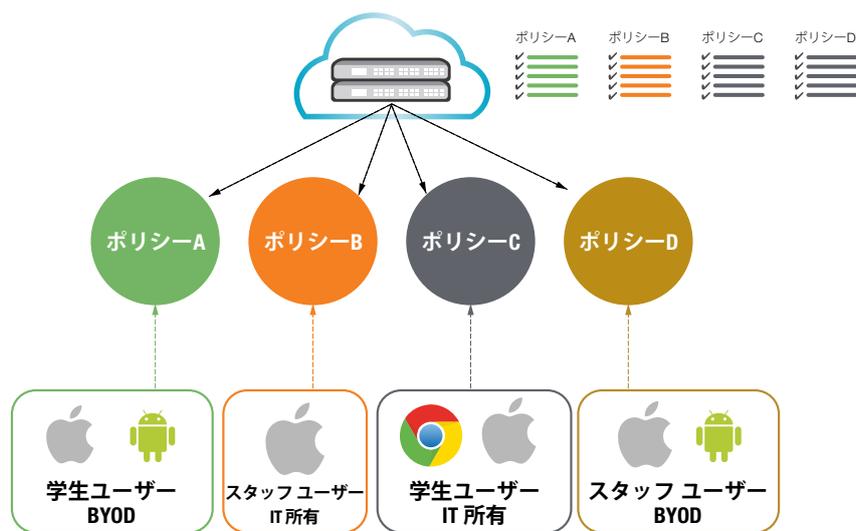
パーソナル デバイス
デバイス タイプ: Nexus 7
OS: Android 4
所有者: 個人

ポリシー: BYOD
有効期限: 2015年11月1日

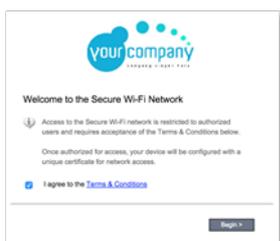
AD アカウント ステータスをモニタリング
有効期限の 7 日前に通知
14 日間不在の場合は取り消し

ポリシー管理

- 詳細なユーザーごと、デバイスごとのポリシー (VLAN、アプリケーションベースのアクセス) を導入し、セキュアでパフォーマンスの高いネットワークを確保
- IT チームは管理ポータルを使用して、複雑なアクセス ポリシーを任意に作成することが可能
- API を使用して、スイッチ、ファイアーウォール、コンテンツ フィルターなどのポリシー施行点に Cloudpath ソフトウェアを簡単かつ自動的に統合



ゲスト アクセス



- さまざまな訪問者にセキュア WiFi を提供し、IT の介入なしにゲストを WPA2-Enterprise ワイヤレス ネットワークにオンボーディング
- スポンサーシップや自己検証など、さまざまな従来型認証・承認オプションを導入し、さらにセキュアな WiFi を Google、Facebook、LinkedIn などの外部 ID サービスと統合
- ネットワーク内でゲストを追跡してセキュリティとコンプライアンスの要求を満たし、ゲストの完全な監査を実施時間制限、アカウント有効期限、SMS 検証によって追加のセキュリティ制御を設定

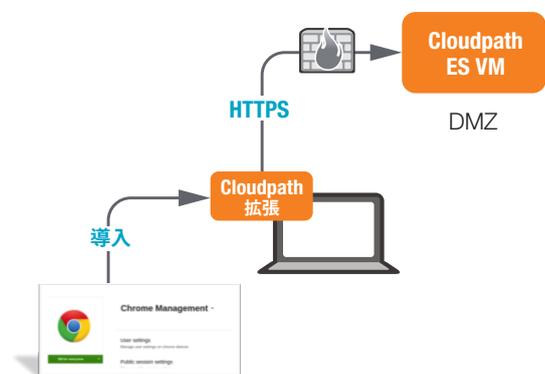
レポートिंग



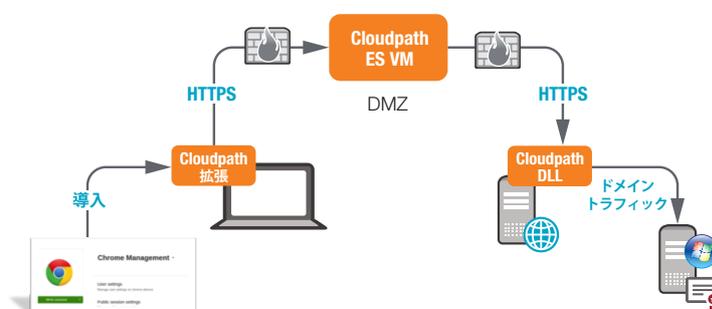
- ネットワークにアクセスするユーザーとデバイスについて、いつ、どのように、どれぐらいの時間アクセスするかを詳細に可視化

CHROMEBOOK 統合

- Google 管理コンソールを使用して、証明書を、管理された Chromebook に配信し、Cloudpath 拡張機能で Chromebook 認証を検出して証明書を自動的にクエリし、それを Chromebook Trusted Platform Module (TPM) にインストール
- ユーザー主導、IT 主導、またはディストリビューター主導の方法で Chromebook の初期設定



Cloudpath 統合 PKI を使用した Chromebook 証明書配布



Cloudpath と Microsoft CA を使用した Chromebook 証明書配布

仕様**Cloudpath Enrollment System v5.0****導入オプション:**

- クラウド管理型 (公共クラウド)
- オンプレミス仮想 (VMWare)

冗長およびマルチテナンシー:

- VM ベースの Cloudpath ES の導入は、スタンドアロン サーバーまたはクラスターのどちらでも可能です。また、データレプリケーションと冗長については、アクティブ - アクティブモードまたはスター - ハブのどちらも可能です。
- Cloudpath ES にはマルチテナント モードが用意されており、MSP は1つのシステム内で複数のテナントをホストできます。

証明書インフラストラクチャ (PKI):

- 内蔵の証明書管理システム
- マルチテナント モード内の各テナントに一意の CA
- 外部 PKI に接続する機能
- スタンドアロン、または既存の PKI と統合して従属
- ポリシーと統合する証明書テンプレート
- OCSP と自動取り消しに対応

RADIUS:

- ダイナミック VLAN、ACL、その他多数に対応
- EAP-TLS、PEAP、MAC フィルタリング用に合理化
- 内蔵 RADIUS サーバー
- 外部 RADIUS インフラストラクチャに接続する機能
- RADIUS アカウンティング

オンボーディング:

- カスタマイズ可能なセルフサービス オンボーディング
- ベンダー中立
- 有線または無線アクセス
- BYOD、ゲスト、IT アセット、IoT の各デバイスに対応
- 既存の MDM および NAC 製品

可視性とレポート:

- デバイスごと、ユーザーごとの可視性と制御
- ユーザー、デバイス、証明書、ポリシーの間の関連付け
- RADIUS アカウンティング

認証とプロトコル:

- 802.1X (EAP メソッド: EAP-TLS、PEAP、DPSK)
- ウェブ認証
- 802.1X (mac-認証) 以外
- iOS 用 EAP-SIM 構成
- OSU (オンライン サインアップ サーバー) で HS2.0 R1 および HS2.0 R2 に対応
- Radius CoA
- OAuth 2.0
- Ruckus WLAN 用 DPSK 構成

ユーザー ID サポート:

- Microsoft Active Directory
- PAP 経由 RADIUS
- 任意の LDAP 準拠ディレクトリ
- ソーシャル ログイン用 OAuth 2.0
- Novell
- 社内ユーザー データベース

デバイス サポート:

- Android 4.3 以降
- iOS (iPhone、iPad、iPod Touch) 6.0 以降
- Chrome OS
- Windows XP 以降
- Mac OS X 10.7 以降
- Ubuntu 12.04 以降
- Fedora 18 以降
- Windows Phone 8.1
- Blackberry

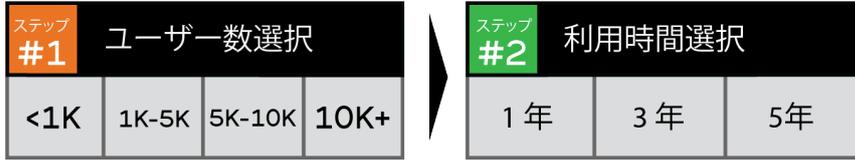
SMS とメール:

- Twilio および CDYNE とネイティブ統合
- 任意のカスタム SMS ゲートウェイを構成する機能
- 内蔵 SMTP サーバーまたは SMTP サーバーを構成

購読

(サポートを含む)

クラウド

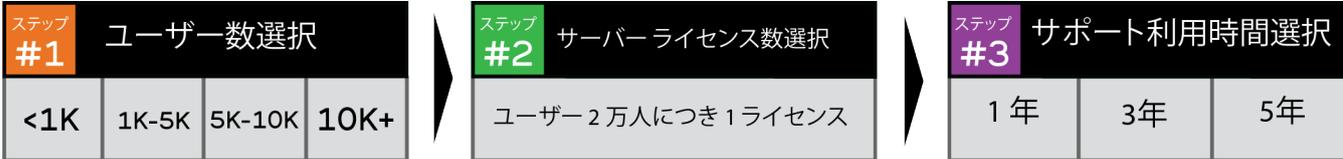


オンプレミス (VM)



- デバイスではなく、ユーザーごとにライセンス
- 合計ユーザー数による階層で数量割引
- ユーザー ライセンスに数によってサービス回数が決定 (1、2、4、および拡張に合わせて追加するオプションあり)
- 教育用は別の定価 (全世界)

永続ライセンス



- デバイスではなく、ユーザーごとにライセンス
- 合計ユーザー数による階層で数量割引
- ユーザー ライセンスに数によってサービス回数が決定
- 教育用は別の定価 (全世界)

注文ガイダンス

1. クラウドまたはオンプレミスのどちらのソリューションを利用するか、また、購読または永続のどちらのライセンスを希望するかを決定します。
2. 環境内でのゲストを含めたユーザー数 (デバイス数ではない) を決定します。
3. 購読期間とユーザー数に基づいて最も適切な SKU を選択します。
4. リモート アシスト導入向けのホワイト グローブ サービスを追加します (オプション)。